

## (1) 救われた証

小学校2～3年生の2年間、小児ネフローゼを病んで入院し、隣接する養護学校に通いました。幸いにして病気は完治しましたが友達を心臓発作や喘息で亡くすなど死が身近でした。一步間違える長期の入院生活になるかもしれないという環境下で育った事から、“拾った命”という思いは常にありました。ゆえに、独立心（反骨心）が強く、頑張り屋さんの少年・青年時代でした。

何せ“拾った命”です。地元の札幌の銀行に就職したのですが海外で生きたいと思うようになり退職し、海外プラント建設の業界に身を投じ、更に会計の資格を取得、その後アメリカ留学と、方向性のないあわただしい生き方をしました。気が付くと37歳で、独身で、孤独で、大学図書館で毎日勉強です。結婚はどうする、起業学を勉強しているが卒業後に事業は起せるのか不安でいっぱいでした。

またその頃、家族とトラブルを抱えていました。アフリカで仕事をしていた時に通帳と印鑑を家族に渡して管理してもらっていたのですが、家族が使い込んでいたのです。心にトゲが刺さったまま、アメリカのインディアナ州の田舎町に留学していました。

その孤独な姿が、“まだできる” “もっとやりたい” と自分の力を信じて生き急いできた結果でした。

アメリカで1年くらいたった頃、学んでいる経営学の背後に基督教の教えがある事に気がつきました。また、韓国やインドネシアからの親しい留学生は皆クリスチャンでした。“大塩、お前も一緒に教会に行けたら良いんだけどな。”と言われ続けていました。

卒業の半年前のある時、ふと、教会に行ってみようかなと思ったのです。韓国人の友達と一緒に行ったその日“ああ愚かなガラテヤ人”のガラテヤ3:1からの説教で、結局、(律)法を守る事や人間の努力では救われる事はない事、またイエス様の十字架を“皆様、見ましたね。”と、その時の私にピッタリの説教だったのです。

そこから教会に通うようにはなりましたが、愚かな私はその後も人間的な努力を続けました。そして起業を2度失敗しノイローゼになり、事業パートナーを避けるため地球の裏側のシンガポールまで逃げました。教会には通い続けました。クリスチャンと交わり特に“主の祈り”を祈り続けました。結局、逃げてから8ヶ月後に信仰を得るにいたりました。

私は(a)信仰を得ただちに家族と和解しました。私は確かに被害者ではあるが同時に加害者だった事がよくわかったからです。(b)2ヵ月後ベトナム人の妻が与えられました。ベトナムに移住する事で(c)妻の家族と“家族”になりました。(d)時間を掛けて会計事務所を作りました。従業員は家族のようです。(e)地域社会に多くの友人ができ信用を得ました。そして、(f)仲間とホーチミン日本語教会を立ち上げたのです。

すべてイエス様が私をあわれんでなさってくださいました事です。

私はもう孤独ではありません。イエス様と教会と家族があるのですから。

## (2) 宣教の証、今、そして、これから

そのように、“私の”計画では、そのままホーチミン日本語教会に最後の日まで所属し幸せて平穏な人生を終えるはずでした。しかし昨年の2月ですが、寝ている時に声が聞こえたのです。ささやくような声ですが、“せんきょう”と聞こえました。“宣教師”だったのかもしれませんが。私は飛び起きました。いつか牧師になる事はあるかとも思っていました。宣教師になると思った事は一度もなかったからです。驚きました。

そのすぐ後のJTJの講義で、ある講師が、黙示録3:14のラオデキヤの教会への聖書箇所被打たれて献身の決意をした事を語りました。高校の先生だったその講師は、イタリア・ミラノで日本語教会を牧会しながらヨーロッパ全土を巡っておられる内村先生です。それを聞いて私も激しく打たれました。

- 3:15 わたしは、あなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく、熱くもない。  
わたしはむしろ、あなたが冷たいか、熱いかであってほしい。
- 16 このように、あなたはなまぬるく、熱くも冷たくもないので、私の口からあなたを吐き出そう。
- 17 あなたは、自分が富んでいる、豊かになった、乏しいものは何もないと言って、  
実は自分がみじめで、哀れで、貧しくて、盲目で、裸の者であることを知らない。

ダメ押しは妻と一緒にベトナム人教会に行った時の説教でした。クリスチャンとしての一般的なビジョン以外にも“個人的なビジョン”が与えられるように祈れという内容で、その時も、予想外でした。短い期間に立て続けでした。それでハッキリと、“主の”私に対するご計画は私がベトナム人に仕える事(宣教)だと知りました。

ペリピ2:13: 神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、  
事を行わせてくださるのです。

今、ベトナム語の聖書とベトナム語版の三浦綾子さんの本を日本の教会に届けるミッションを行っています。これから長い時間が必要と思いますが、日本で信仰を得たベトナム人と一緒にベトナム国内で伝道したいと思っています。それがビジョンです。

印刷、聖書の入手、ホームページ作成などの事前活動に4ヶ月を費やし、昨年8月から配布を始めました。9ヶ月ほどが経ち、49の教会にベトナム語聖書を届ける事ができました。しかしまだ、私の手元に200教会分が残っています。どうやったら諸教会と繋がっていただけるのか、始めた時も今も分かりません。どこの教会にベトナム人がいるのかさえ分かりません。どうして49もの教会に配布できたのかも実は分からないのです。

ただ分かっているのは協力者が必要である事と、その協力者が私と出会ったりこのミッションを知ったりするのも、実は主のご計画であるという事です。“いつ”なのかは分かりません。結果は、全て主にゆだねています。私たちの主は生きておられ、日々、道を造っておられます。ベトナムの善いものが日本に、そして日本の善いものがベトナムに流れるよう、大きくて強固な架け橋をかけてくださる事を、ともに祈ってください。

大塩 英人      Vietnamese Bible to Japan (VBTJ.org)      <http://www.vbtj.org/>